

男女共同参画行動計画（第4次） 計画がめざす指標

基本目標	基本方針	指標項目	現時点での把握値	目標値 (目標年度R16) R16でない場合は 年度記載
Ⅰ 人権と多様性を尊重する社会意識づくり	1 人権意識の向上、男女共同参画についての理解の促進	「社会全体として」の男女の地位の平等感	8.0% (R5市民アンケート調査)	50%
		性別役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」という考え方)について、そう思わない人の割合	72.7% (R5市民アンケート調査)	90%
	【重点】 2 男女共同参画の視点に立った教育の推進	中学生の「社会全体として」の男女の地位の平等感	39.4% (R5中学生アンケート調査)	50%
		性別役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」という考え方)について、そう思わない中学生の割合	54.6% (R5中学生アンケート調査)	90%
Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画の促進	3 政策・地域社会における男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合	35.0% (R6.3.31)	40%以上、60%以下
		市職員の管理職(課長補佐級以上)における女性の登用割合	31.6% (R7.4.1)	35% (R12年度)
		「地域活動の場」の男女の地位の平等感	40.9% (R5市民アンケート調査)	50%
	【重点】 4 雇用・就労における男女共同参画の推進	25歳から44歳までの女性の就業率	72.8% (R2国勢調査)	策定時の値より上昇
		イクボス宣言事業者数	59事業者 (R7年度)	72事業者※ (R9年度)
		市内の起業・創業件数 (第2創業・副業含む)	4件 (R5年度)	24件※ (R9年度)

※事業者数・件数は累計

基本目標	基本方針	指標項目	現時点での把握値	目標値 (目標年度R16) R16でない場合は 年度記載
Ⅲ 多様な生き方が選 択でき、健康で安 心して暮らせる環 境づくり	5 働き方と環境整備による仕事 と家庭生活の両立	「子どもの安全が確保され、子 育てと仕事を両立させたい家 庭やひとり親家庭が安心して 就労できる環境」が整ってい ないと感じている人の割合	13.30% (R4市民実感度調査)	策定時の値より減少
		育児休業・介護休業の利用状 況(男性も女性も利用してい る)	育児休業 27.7% 介護休業 16.0% (R5市民アンケート調査)	策定時の値より上昇
	6 健康で安心して暮らせる環境 づくり	「自助・互助・共助・公助のバ ランスの取れた包括的な支 援・サービスの整備」や「障 がい者が住み慣れた地域の中 で、自立して安心した生活が できる取組」が進んでいない と感じている人の割合	包括的な支援・サービスの整備 12.0% 障がい者が自立して安心した 生活ができる取組 13.3% (R4市民実感度調査)	策定時の値より減少
		健康寿命 (65歳平均自立期間)	男性 19.6年 女性 21.3年 (R5生駒市高齢者保健福祉計 画・第9期介護保険事業計画)	策定時の値より延伸
	【重点】 7 パートナー間におけるあらゆる 暴力の根絶	ドメスティック・バイオレンスの 相談窓口を知っている人の割 合	40.40% (R5市民アンケート調査)	70%
		恋人同士の関係で、「体をさ わるなど相手が嫌がることを する」ことを変だと思わない中 学生の割合	男性 16.2% 女性 6.6% (R5中学生アンケート調査)	策定時の値より減少